

留 学 報 告 書

記入日: 2013年9月25日



所属学部／研究科・学科／専攻	情報コミュニケーション研究科 情報コミュニケーション学専攻
留学先国	フランス
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	ソルボンヌ・ヌーヴェル パリ第三大学 L'universite Sorbonne Nouvelle Paris 3
留学期間	2012年9月～2013年7月
留学した時の学年	修士2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	修士1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2013年7月23日
明治大学卒業予定年	2014年3月
留 学 先 大 学 について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期: 9月上旬～1月中旬 2 学期: 1月下旬～5月下旬
学生数	18,411人
創立年	1896年

留学費用項目	現地通貨(€)	円	備考
授業料	€0	0円	(明治大学の授業料のみ)
宿舍費	€4,800	552,000円	寮の家賃に光熱費・水道代・インターネット代が含まれている
食費	€120	13,800円	
図書費	€800	92,000円	
学用品費	€300	34,500円	
教養娯楽費	€3,000	345,000円	
被服費	€400	46,000円	
医療費	€0	0円	
保険費	€1,100	126,500円	日本で予め入っておいた保険 (年齢によって現地の学生用の保険に入る必要あり)
渡航旅費	€1,400	161,000円	
雑費		円	
その他		円	
合計	€11,920	1,370,800円	

渡航関連

渡航経路: 韓国・ソウル	
渡航費用	チケットの種類 一年間のオープンチケット
	往路 _____
	復路 _____
	合計 147,000 円
渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。	
旅行会社: HIS	
ガイドブック: 地球の歩き方	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)	
大学の寮	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 _____)	
3)住居を探した方法:	
大学から入学許可証が送られてきた際にメールで寮の紹介を依頼した	
4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
滞在先証明はビザの申請の際にも必要になるのですぐに探し始めた方が良いでしょう。 私の場合は上記の方法により、パリの中心地で大学からも近いとても良い寮を紹介して頂きました。 こちらからの要望を伝えないと当然何もしてもらえません。立地や個室希などしっかり伝えておくとも良いと思います。	

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会が無かった <input type="checkbox"/> 利用した:	
2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
生活に関する手続きや書類上のことは友人や以前のホームステイ先の家族に助けてもらいました。 大学内でのわからないこと(履修登録など)は交換留学担当の方に相談にのってもらいました。 また、私の寮は GROUS の事務が下の階にあり、セキュリティスタッフも常駐していたので住居のことで何かあった時は直接ここを訪れました。	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？	
部屋の戸締りをしっかりとる、パリでは iphone の盗難が非常に多いので利用時に注意する	
4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
寮のインターネットは wifi ではなく有線だったのでコードを購入する必要がありました。 大学内、図書館は wifi が使えます。 現地では携帯電話を購入し(本体は一番安いもので 23€)、毎月 20€の使用料でした(2 時間分の無料通話付、SMS 無料) ただ、年間契約のため解約の際に手数料が掛かるので滞在期間によってはプリペイドの携帯をお勧めします(私は 11 か月の滞在だったので帰国の際に名義変更し、友人に引き続き携帯を使ってもらいました)。プリペイドは通話料はやや高めですが、SMS は 1 通 3 円ほどですし、友達との待ち合わせや緊急時のものとして利用するにはこれで充分だと思います。	
5)現地での資金調達はどのように行いましたか？(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
家賃の支払いなど比較的大きな金額のものはクレジットカードを利用しました。フランスでは小さなお店でもクレジットカードが使えることが多いので便利です。クレジットカードならレートも悪くありません。 その他は現金(現地で仕事をしたお給料)を使用しました。 銀行口座は住居証明や学生証、ビザなどを持っていくと申し込みから 1~2 週間後にカードが届き口座が使えるようになります。 携帯料金の引き落とし、住宅補助やお給料の振込など何かと必要なので現地で口座を開かなければならなくなると思います。 (フランスの銀行は月々の使用料金があり、また有料の色々な保険が付いてくるので必要のないものは契約せず、自分に合った銀行を選ぶと良いと思います。)	
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
変圧器、専門書、辞書、文法事典 パリでは必要なものはこちらで買えるので特に心配はないと思います。ただ日本の書籍は高いですし入手するにはかなり限度があるため、勉強に必要なものは日本から持っていくことをお勧めします(プリントなどがさばる物はスキャンするなど)。	

進路について

1) 進路 <input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
L'actualité et les médias dans l'éducation	教育における現代とメディア
科目設置学部・研究科	メディア・コミュニケーション研究科
履修期間	1 学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ゼミ形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 1 回
担当教授	Madame Colloy
授業内容	教授がその日のテーマに沿って講義をし、学生はノートを取る。テーマ例「(子ども向け)テレビシリーズが子どもに与える影響」。アメリカの番組など具体例を挙げての講義であった。また、それぞれ自分の研究テーマ・問題提起・調査方法・参考文献を簡単に書いたものを3回目の授業で提出した。締切厳守で遅れた場合は受け取ってもらえない。 11 月末から 12 月にかけて、ひとり1回(ペア・グループでも可)、パワーポイントを使って発表を行った。発表のテーマは「教育におけるメディア」、対象は l'adolescence(18 歳以下)。テーマ/仮説/調査方法/結論などについて。(発表時間は 30 分~1 時間ほど)
試験・課題など	試験なし。 課題は発表(詳細は上記)と期末レポート(教授の講義とゼミ生の発表を聞いたうえでの「教育における現代とメディア」の総括)。
感想を自由記入	この講義は一切板書がなく、また授業が始まって2ヶ月後にはパワーポイントを用いた発表、更に1ヶ月後には期末レポートがあり、フランス語もままならない状態で何が何だかよくわからないまま進んでいったように思う。ただ、そんな中でもフランスのマスターの授業の進め方や期末レポート、発表の形態を知ることができたのは非常に興味深かった。 また、個人発表では修士論文とはまた異なる視点で自分の考えを発表できたことも勉強になった。 語彙力の足りない私に教授が書籍を紹介してくださったり、同じ授業をとっている友人がレポートの添削をしてくれたり講義ノートをメールで送ってくれたり、周りの方々にも助けられて過ごせたこの授業は本当に良い体験だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Culture française 4 (Philosophie)		フランス文化 4(哲学)	
科目設置学部・研究科	留学生対象科目		
履修期間	1学期		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義+討論形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	M. Khodayar Fotouhi		
授業内容	デカルトやサルトル、ボーヴォワールの文章を読みながら授業が行われる。Master1年目の授業は教授が2時間話し続け、学生がひたすらノートをとるというスタイルだが(ゼミの発表を除く)、この授業は学生も自由に発言できる雰囲気でお互いに意見を交わすことができた。		
試験・課題など	翌週の授業で使われるテキストがあらかじめ配られるのでそれを家で読んでおく。 11月半ばと1月に2度テストがあった(辞書持ち込可能)。 19世紀の学者が書いた短い文章を読んで、テーマ、問題提起、テーゼ、論理構造を書くというもの。また、テキスト内の6つの言葉の定義を書くという問いがあった。授業の2時間で行われ、終わった人から退出可能だった。翌週テスト返却、解説が行われた。		
感想を自由記入	留学生対象の授業であったため、いろいろな国の学生が参加していて、活発な意見交換が行われることもあり、発見の多い授業であった。先生がテキストについてわかりやすく根本から説明して下さり、上記のような文章を読むことにより、西洋哲学の基礎などを学ぶことができた。この授業を通してフランス語の語彙も広がったと思う。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Langue française (intermédiaire niveau 2)		フランス語(中級レベル2)	
科目設置学部・研究科	留学生対象科目		
履修期間	1学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義+討論形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	M. Khodayar Fotouhi		
授業内容	授業の前半は、B2レベルの問題(読解)を時間を計って解き、その後答え合わせをする。後半は、その日の新聞を読み、それについて意見を交わす。 毎回出席を取る。		
試験・課題など	末試験(読解・辞書持ち込み不可)のみで課題はなし。		
感想を自由記入	読解で扱うテキストは DELF の過去問題から新聞までさまざまであった。そのため、レベルも幅広かったように思う。週に1回のみなのでこの授業を頼りにしてフランス語を伸ばすというのはやや難しいと思った。そのため、後期は大学のきちんとしたコースの試験にチャレンジして登録し、単位にはならないがそちらの授業を受けた。		

留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2012年 1月～3月	学内試験合格後、ビザ申請や奨学金などについて調べ準備を始める
4月～7月	パリ第三大学出願準備 入学許可証入手後、寮問い合わせ、寮決定後に入寮書類の準備(保証人証明など) 明治大学内への提出書類準備(留学願いなど) ビザ申請 航空券購入 保険加入 海外でも使える銀行口座開設 大学からの補助を利用して日仏学院に週1回通学
8月～9月	ビザ取得(8/1) 渡航(9/3) 入寮手続き(9/4) 大学が始まるまでの間に生活環境を整える(移民局手続、携帯電話購入、銀行口座開設、履歴書作成など) 2週間のみ語学学校でフランス語の勉強 大学のオリエンテーション、履修登録
10月～12月	授業開始 大学や図書館で授業の復習、ゼミの発表の準備 たまたま応募のあった2つの学校で日本語教師の仕事始める 後期から通う大学の Phonethique コースの出願準備
2013年 1月～3月	前期の期末試験 Phonethique コースの試験(筆記と面接) 後期授業開始 Phonethique コースの授業を毎日受ける 継続して日本語教師の仕事
4月～7月	後期の期末試験 帰国に向けて銀行口座を閉じたり、退寮や携帯の名義変更、航空券などの手続き 帰国